

【ファーストステージレポート】

開幕3連勝で好スタートを切る

ファーストステージ第1戦

vs.日本ユニシスBULLS 9月4日(金) 千葉マリスタジアム

オービック52-7日本ユニシス

杉原、萩山らの活躍で開幕戦を快勝

リーグ初戦となるファーストステージ第1戦が9月4日、千葉マリスタジアムで行われ、今年からX1に昇格し、春季パールボウルでも対戦した日本ユニシスBULLSと対戦しました(春季は37-3でオービックが勝利)。千葉マリスタジアムでXリーグの試合が開催されるのは10数年ぶりということで、千葉を活動拠点にしているオービックシーガルズにとっては念願の地元開催になりました。試合序盤はQB#15龍村がパスをインターセプトされるなど固さが見えましたが、次のディフェンスでDB#14長谷川が相手RB

への激しいタックルからファンブルを誘発させて攻撃権を奪うと、オフェンスがそれに応えます。RB#20古谷(拓)のラン、WR#83清水へのパスでゴール前まで進むと、最後はRB#36白木の力強いTDランでオービックが先制。その後は終始オービックのペースで試合が進み、52-7で快勝しました。オフェンスではRB#21杉原がランで9回225ヤード3TD、WR#85萩山がパスで4回106ヤード、3TDと大活躍。ディフェンスではDB#41堀がインターセプトを見せるなど、新人や若手選手の活躍が目立ちました。



独走するRB#21杉原



2本のTD/パスを決めたQB#15龍村



DB#14長谷川のハードタックル

ファーストステージ第2戦

vs.富士ゼロックスミネルヴァAFC 9月12日(土) 川崎球場

オービック65-3 ゼロックス

全シリーズTDの猛攻で開幕2連勝

ファーストステージ第2戦は、開幕戦でXリーグ初勝利をあげた富士ゼロックスミネルヴァAFCと川崎球場で対戦しました。試合は序盤からオービックのペースで進みます。最初のシリーズはRB#20古谷(拓)のランプレーやQB#15龍村のパスでゴール前まで進むと、前節に続いてRB#36白木のTDランで先制します。次のシリーズもDB#2古庄のインターセプトでチャンスと掴むと、オフェンスがそれに応えRB#35山崎が力強いTDランで追加点。その後も攻守にわたってオー

ビックが圧倒し、65-3で快勝しました。オフェンスは前節3TDと大活躍だったWR#85萩山が2TDレシーブを記録したほか、若手ではRB#21杉原、#34太田、WR#17平野、ベテランではRB#20古谷(拓)、WR#83清水らがTDを決める活躍。9回の攻撃シリーズを全てTDにつなげる猛攻を見せました。ディフェンスは喪失ヤードが42回で67ヤード。特にパス守備においては11回中、通されたのはわずか2回、インターセプトが1回と好調ぶりを見せました。



QBにプレッシャーをかけるDL#94島山



RB#36白木の力強いラン



WR#17平野は秋季初TDを記録

ゲームMVP(コーチ選出)



Offense MVP
RB#21杉原雅俊

ビッグプレーを連発し、9回キャリー 225ヤード、3タッチダウンを獲得。



Offense MVP
WR#85萩山竜馬

4回のキャッチで 106ヤード、3タッチダウン。勝負強いキャッチで膠着した雰囲気を一掃。



Kicking MVP
DB#41堀 龍太

最初のキックオフリターンで狙った通りのビッグヒット。ロングリターンの原動力となった。

Defense MVP

該当者なし

ゲームMVP(コーチ選出)



Kicking MVP
LB #45 早坂友貴

2回のキックオフリターンで2回ビッグヒット。キックオフカバーでも終始貪欲なプレーを披露。

Offense MVP

該当者なし

Defense MVP

該当者なし

Monthly Report

9
2009

ファーストステージ第3戦

vs.オール東京ガスクリエイターズ 9月24日(木) 東京ドーム

オービック40-17オール東京ガス

開幕3連勝にも課題残る

開幕から大差で2連勝と好調のオービックシーガルズ。ファーストステージ第3戦は、今季まだ勝ち星のないオール東京ガスクリエイターズと東京ドームで対戦しました。最初の攻撃シリーズ、QB#15龍村のパスがインターセプトされ攻守交代。しかし好調のディフェンスが次のシリーズもきっちり止めると、ショートパスを受けたWR#83清水が81ヤードを独走してTD。先制点を奪います。ディフェンスはDB#2古庄やDL#93福原が激しいタックルからファンブルを誘発。この

チャンスを活かし、K#1金親のFGやWR#83清水のTDパスレシーブで追加点をあげ19-3で前半を終了します。後半はWR#85萩山、#22古谷(晋)のTDパスレシーブ、RB#36白木のTDランで追加点をあげ40-17と勝利しました。しかしオフェンスは勝負どころでのパス失敗やインターセプトが目立ち、ディフェンスもメンバーを入れ替えた後半に14失点を喫するなど、ファーストステージ後半戦に向けて課題も残る試合となりました。

ゲームMVP(コーチ選出)



Offense MVP WR#83 清水 謙

4キャッチ、92ヤード、2タッチダウンを獲得。ゲームの始めでチームを勢いづけた81ヤード独走タッチダウンは圧巻。



Kicking MVP LB #44 橋本享祐

パント隊形からのランプレーを落ち着いてタックルし、攻守交代に持ち込んだ。相手に勢いを与えない値千金のプレー。

Defense MVP

該当者なし



81ヤードの独走TDを決めたWR#83清水



QBにプレッシャーをかけるDL#92紀平



R#22古谷(晋)のTDパスレシーブ

秋シーズン開幕 9月の3試合を終えて



GM兼監督
並河 研

いつもオービックシーガルズを応援いただき、誠にありがとうございます。

9月4日(金)に日本ユニシスBULLSと秋シーズンの開幕試合を戦った後、12日(土)に富士ゼロックスミネルヴァAFC、24日(木)にオール東京ガスクリエイターズと、9月は3試合を戦いました。今シーズンからリーグ戦のフォーマットが一新され、9月に3試合を行いました。コンディションの崩れもなく、おかげさまで順調にスタートを切ることができました。開幕戦は、「地元」千葉マリスタジアムでの試合でした。お越しくださった1,518名の皆様の中には、初めてアメリカンフットボールをご覧になった方も多数いらっしゃいました。千葉のアメリカンフットボール・ファンをもっともっと増やして行きますよう、さらに活発に活動してまいりたいと思います。また、アメリカンフットボールとしては、久々の千葉での開催ということもあり、運営面で必ずしも行き届いたものでは

ございませんでした。この部分におきましても、引き続き改善してまいりたいと思います。

今シーズンは、若手や新戦力の活躍が、チーム全体に大きな刺激を与えています。オフェンスのボックスでは、3試合で9回キャッチ176ヤード6TDのWR#85萩山、22回378ヤードを走り4TDのRB#21杉原。彼らを支えるOL陣では、#78渡邊、#55島、#67Frank Fernandez(フランク・フェルナンデス)といった新加入選手たちがすでに中心となっています。またディフェンスでは、DL#94島山、#12Karl Noa(カール・ノア)、LB#44橋本、DB#24矢野川、#4藤本らが、やはりすでに中心選手としての活躍ぶりです。

10月以降も、目標であるライスボウル勝利を目指し、さらにパフォーマンスを高めてまいります。引き続きの応援を、何卒よろしくお願い致します。

GM兼監督 並河 研

メインスポンサー

システムインテグレータの **オービック**

オフィシャルスポンサー



オービックシーガルズマンスリーレポート 9月号

発行人/並河 研
編集/渡部 滋之
制作・デザイン/高木 慶太
文/藤田 義生、渡部 滋之
発行/株式会社OFC
〒275-0024 千葉県習志野市茜浜3-6-3
tel: 047-452-2224
http://www.seagulls.jp